



光を北方から

令和4年度学校だより第2号

令和4年7月22日発行

<発行責任者>

北海道旭川盲学校 校長 宮岸 尚平



予測のつかないこの時代を生きる

教頭 秋山卓也

旭川盲学校に着任して2年目になりました。2年目にしようやく6月10日土曜日に運動会をすることができました。後援会の会員企業である橋本川島コーポレーション様のご協力により、毎年運動会が始まる前の期間にグラウンドの転圧作業を行っていただいておりますが、昨年は感染症の影響により運動会を実施できませんでした。



今年、転圧作業をしていただいたグラウンドをしっかりと活用し、子どもたちが躍動する姿を見ることができ、とてもうれしく感じました。



以前なら「普通」であった学校の行事や取組が「今まで通り」に実施できないことがたくさんあり、この期間に学校に通う子どもたちは様々な制約を受けてきました。子どもたちにとって楽しく、思い出に残る経験ができる行事ほどできなかったことが多くありましたが、今年はこの地域、学校でも徐々に再開できる活動を増やし、子どもたちの思い出に残る経験を積ませることができつつあります。しかし、3年前と全く同じかといえそうではありません。現在の学習指導要領が議論されていた6年ほど前は2030年が予測できない未来とされ、その時代に向かって子どもたちが切り拓く人生に対して学校教育がアプローチする姿が語られていたのですが、今は1年先のことすら予測が困難な状況にあります。

学習指導要領の前文には「これからの学校には、(略)一人一人の児童(生徒)が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが求められる。」とあります。子どもたちは一人一人の力を高めつつ、皆と協力してこの予測困難な時代を切り拓いていく力を「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」を通して学校で身につけていかなければなりません。一人一人に寄り添った少人数教育により本校は「個別最適な学び」には最適の環境です。コロナ禍における「協働的な学びの一体的な充実」のため、ICTを活用した道内盲学校・視覚支援学校との共同学習を進め、近隣各校との交流及び共同学習も感染症の動向を踏まえて再開させるなどして、予測困難なこの時代の学びを進めていきます。今後とも本校の教育にご理解とご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

幼稚部校外学習

今年度の校外学習は、小学部と一緒にカムイの杜公園へ行きました。保護者の方にも一緒に参加していただき、楽しく自然の中で遊ぶことができました。ネイチャーゲームでは、水・葉っぱ・木などの立体コピーのマークを触り、実物を公園の中で探しました。「ここかな。」「この葉っぱは形がちがうかな。」と予想しながら自然物をたくさん触って確かめることができました。後半は、水辺で水遊びもしました。水が出てくる感触や水の流れをじっくり確かめたり、水をパシャパシャして気持ち良く遊んだりしていると時間はあっという間でした。

校外学習ならではの体験を通じた遊びを満喫してきました。



小学部遠足

7月1日(金)に小学部の遠足で、カミイの杜公園へ行ってきました。雨が降らないか心配でしたが、当日はとても良い天気にも恵まれました。カミイの杜では、ネイチャーゲームをしたり、学級活動で買ったおやつを食べたり、水遊びを楽しんだりと盛りだくさんの時間を過ごすことができました。ネイチャーゲームでは、シロツメクサや両手を広げても届かないくらい太い幹の木を探したり、木の上に茂っている葉を触るために腕を精一杯伸ばして触れたりする姿が見られました。そして、帰りも楽しみにしていたバスに乗り、学校に到着する最後の時間まで楽しむことができました。



中学部宿泊研修

中学部2年生と3年生の5名は、7月7日(木)から8日(金)までの日程で宿泊研修に行ってきました。路線バスや鉄道を使って移動し、深川市の「アグリ工房まあぶ」のコテージで2日間を過ごしました。1日目は、藤谷果樹園でさくらんぼ狩りの体験を行い、夕飯はオートキャンプ場で野外炊飯を行って、カレーライスやピザを調理して食べました。夜には、温泉に入ってゆっくり休みました。2日目は木エクラフトの体験を行い、試行錯誤しながらフォトフレームやバッジ、楽器などを木で作りました。30℃を超える暑い中での活動でしたが、様々な体験を通して、得るものがあったのではないのでしょうか。お疲れ様!



幼小部の様子

7月8日に旭川ガスさんと日本通運さんから雪のプレゼントがありました。早速、プールへ移動して雪だるまやたくさんの雪を触って感触を確かめたり、雪を掘ったり積み上げたり、宝探しをしたりなど、夏に雪に触れる貴重な体験をすることができました。

また、7月の学部集会では七夕飾りを作りました。ペットボトルにクレヨンで色付けしたり、シールなどを貼り、最後お願い事をつけて完成させました。

幼小部みんなで雪遊びや七夕飾り作りを行い、7月の季節にぴったりの活動をたくさん楽しむことができました。



中学部の様子

運動面の活動についてお伝えします。体育の授業では、運動を好きになる気持ちを大切にして授業実践に取り組んでいます。毎回の授業では工夫があり、笑い声の絶えない授業。7月からの週1回のプール授業では、新たなことに挑戦する様子がいくつも見られました。

陸上の授業では、札幌で行われる文体連の陸上競技に向けて、様々な練習をしています。また、月に1~2度、行っている放課後学習でも、自分たちがやりたい練習を選んで取り組んでいます。目標に向かって挑戦する姿に、たくましさを感じます。しっかりと準備をして本番当日を迎えてほしいと願い、日々の指導に当たっています。



寄宿舎

今年度1回目のアウルの会は、3月から数ヶ月ぶりの実施でしたが、子供達みんなの成長ぶりにボランティアさんたちは驚いていました。絵本の読み語りに静かに耳を傾け、なぞなぞクイズタイムでは大いに盛り上がりました。ランランタイムでは、1回目グラウンド、2回目は体育館で実施しました。自分のペースに合わせて時間いっぱい取り組むことができました。



8/24 (水)

旭川東高音楽部オンライン交流
素敵な歌声を届けてくれます♪

8/31 (水) 第59回 舎祭

今年度は得意なことを発表する
ライブコーナーを設け、その様子
をライブ中継する予定です。接続
方法は後日お知らせします。

9月アウルの会

文体連に合わせ、7日から21日
に日を変更しました。

創立100周年関連

今年には本校にとって記念すべき創立100周年の年となります。2学期の10月29日(土)には創立100周年記念の学習発表会と記念式典を実施します。また、同じ日の午後には60周年と80周年の時に作成したタイムカプセルの開封式も予定しています。感染症拡大の状況がまだ見通せないことから、記念式典、開封式ともに、たくさんの皆さんをお呼びして実施することができませんが、関係する皆様には後日案内を送付させていただく予定です。出席される皆様は、どうぞよろしくお願いいたします。

子ども相談支援センター

- いじめられて、こまっている
- がっこうにいきたいのに、いけない
- だれかに、きいてほしい

子ども相談支援センターでは、いじめや不登校、性的マイノリティなどに悩む子どもたちや保護者からの相談を受け付けています。

メール相談

sodan-center@hokkaido-c.ed.jp

電話相談

0120-3882-56